

平成２９年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 平成２９年４月 １日

至 平成３０年３月３１日

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会本部としての総合的な企画調整機能及び経営管理体制の充実強化を図るとともに、各施設等との連携による効率的かつ効果的な経営に努めた。

ア 法人運営体制の整備や社会福祉充実計画の策定など社会福祉法人制度改革への対応

イ とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）の策定

ウ 社会福祉法人会計基準による適正な会計の運用及び管理並びに財産の適正運用など財務管理の充実

エ 清風園渡り廊下新築その他工事の実施による建替整備の完了

桜ふれあいの郷の建替整備に係る基本計画の策定及び設計業務の着手

オ 計画的な職員採用による人材の確保と各課・事業等における適正な人員配置

カ マイナンバー制度に基づく特定個人情報等の取扱規定の整備及び適切な運用

キ 活力ある組織（職場）づくりと職場環境の整備

- ・職員研修の実施

- ・定期健康診断、ストレスチェック、生活習慣病検診事業の実施及び人間ドック等の実施

- ・機関紙「かたらい」の発行、ホームページの適宜更新等による広報活動の推進

(2) 事業実績

事業一般

月	業 務 一 般	研 修	そ の 他
4	○第72回理事会 ○第1回課長施設長等会議	○新規採用職員研修（前期）	
5	○平成28年度決算監査 ○第2回課長施設長等会議 ○基本計画検討班会議 ○第73回理事会		
6	○第57回評議員会 ○第74回理事会 ○基本計画策定委員会 ○施設等運営指導監査		
7	○機関紙「かたらい」第90号発行 ○施設等運営指導監査 ○評議員選任・解任委員会 ○基本計画検討班会議及び策定委員会	○事務担当者研修	
8	○職員採用試験 ○第75回理事会		○定期健康診断・生活習慣病検診

月	業 務 一 般	研 修	そ の 他
9	○職員採用試験 ○職員身上報告書提出	○平成30年度新規採用者事前研修	○定期健康診断・生活習慣病検診
10	○平成30年度事業計画・施設整備費等 ヒアリング ○平成30年度事業計画・予算編成 ○第3回課長施設長等会議 ○基本計画検討班会議及び策定委員会	○年末調整、法定調書作成、源泉徴収 事務説明会	○定期健康診断・ストレスチェッ ク・生活習慣病検診
11	○職員身上報告書（ヒアリング） ○第76回理事会 ○50周年記念事業（～栃木県厚生事業 団設立から50周年を迎えて～）	○平成30年度新規採用者事前研修	○定期健康診断・ストレスチェッ ク・生活習慣病検診
12	○協会職員（永年勤続等）表彰 ○基本計画検討班会議	○新規採用職員研修（後期）	○定期健康診断・生活習慣病検診
1	○機関紙「かたらい」第91号発行 ○平成29年度補正予算編成 ○第4回課長施設長等会議 ○第77回理事会 ○基本計画検討班会議	○虐待防止研修	○定期健康診断・生活習慣病検診
2	○第5回課長施設長等会議 ○職員採用試験	○事務担当者研修 ○管理職研修	○定期健康診断・生活習慣病検診
3	○基本計画策定委員会 ○第6回課長施設長等会議 ○第78回理事会 ○第58回評議員会	○平成30年度新規採用者事前研修	

2 支援業務課

とちぎリハビリテーションセンター駒生園の利用者支援に係る業務を受託し、利用者の自立と社会参加を促進するための支援等を行った。

ア 個々の能力やニーズに沿ったサービスの提供

イ 個別支援計画の作成

ウ 個別支援計画に基づく日常生活の支援、機能訓練、生活訓練（高次脳機能障害）、健康管理等

エ 利用者及び家族等に対する相談支援

オ その他、施設の運営方針に付随する業務

3 母子生活支援施設 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子の福祉増進や社会的な自立の促進及び子どもの貧困対策の推進に努め、関係機関との連携を強化しながら次の事業を行った。

ア 個別対応職員を配置し、虐待を受けた子どもへの面接、生活場面での対応及び母親への援助を積極的に行い、子どもが良好な人間関係を築けるよう支援した。

イ 心理療法担当職員による心理面接等の専門的援助を行い、母子の心のケア及び社会適応力を高めるための支援を行った。

ウ 母親の就労状況や様々なニーズに応じた施設内保育を行った。

エ 就労に向けた支援を強化するため、ハローワーク等を積極的に活用し、求人情報の提供を行うとともに、資格取得の促進に努めた。

オ 保育所及び学校との連携を強化するとともに、学習支援や様々な体験活動等を行い、子どもの健全育成に努めた。また、母子支援員を中心とした細やかな支援に心がけ、貧困の世代間連鎖防止に向けた支援を行った。

カ 常直体制や警察との連絡体制の強化により、夜間や緊急時の利用者の安全確保に努めた。

キ とちぎ男女共同参画センター、福祉事務所及び児童相談所との緊密な連携強化を図ることにより、利用者の保護・自立に向けた支援を行った。

ク 栃木県からの委託事業である一時保護事業により、DV被害等による緊急保護を行った。

ケ 支援マニュアルに基づき支援内容の再確認及び職員間の共通認識を図り、質の高い支援の提供に努めた。

コ 福祉サービス第三者評価を受審し、講評結果に基づき支援の見直しを図った。

サ 職種に合わせた専門研修に参加し、職員の質の向上を図るとともに、支援技術の向上を目的とした施設等の見学を実施した。

(2) 利用者の状況（入所定員 20世帯）

区分	項目	年間延利用者数		月平均利用者数		3月31日現在 在籍者数		入 所		退 所	
	年度	28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
世帯数（世帯）		207	210	17.3	17.5	18	15	13	2	10	5
家族人員（人）		596	608	49.7	50.7	52	44	35	5	27	13
	母 親	207	210	17.3	17.5	18	15	13	2	10	5
	児 童	389	398	32.4	33.2	34	29	22	3	17	8

（注）（ ）内は、3月31日付退所者の再掲

(3) 事業実績

事業一般

月	支援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	○入学祝い			○ホンダ労組ふれあい交流
5	○端午の節句 ○母の日のプレゼント作り ○お楽しみ会（小学生）			○福祉事務所との連絡会議（第1回）
6	○母と子のつどい（第1回）	○健康診断（母親）		○国本中学校との連絡会議（第1回） ○晃宝小学校との連絡会議（第1回） ○保育園との連絡会議（あゆみ北保育園）
7	○母親教養講座（第1回） ○七夕会 ○納涼大会（施設機能強化推進事業） ○ラジオ体操 ○マナー教室（母親対象）			
8	○小学生体験学習（施設機能強化推進事業） ○小学生調理体験 ○食事会（流しそうめん） ○アイススケートショー鑑賞 ○映画鑑賞会			
9	○動物ふれあい体験			
10	○小学生社会科見学 ○母と子のつどい（第2回） ○ハロウィンイベント	○健康診断（母親・子） ○インフルエンザ予防接種		○保育園との連絡会議（あゆみ北・松原・西が岡・宝木保育園）
11	○食事会（施設機能強化推進事業） ○七五三のお祝い ○母親教養講座（第2回） ○動物ふれあい体験			○晃宝小学校との連絡会議（第2回） ○福祉事務所との連絡会議（第2回）
12	○クリスマス会 ○正月準備（施設機能強化推進事業） ○クリスマスイベント（英会話小学生）	○大掃除		○雇用促進連絡会議
1	○書初め大会			
2	○ボウリングゲーム（施設機能強化推進事業） ○節分 ○親子料理教室 ○社会教育活動（SL乗車体験）		○不審者対応訓練	
3	○ひなまつり ○小学生調理体験 ○DVD鑑賞会 ○いちご狩り体験		○消防設備保守点検 ○非常用通報装置点検	○貸出図書・DVDの整備
定例	○書道教室（毎月第1・3水曜日） ○学習支援（随時） ○英語教室（月2回） ○お絵かきクラブ（月1回） ○誕生祝い（随時） ○母親常会（偶数月） ○母親役員会（奇数月） ○子ども常会（随時） ○施設内保育（随時） ○日本語教室（月3回）	○施設内・近隣清掃（毎月第3日曜日）	○避難訓練（毎月第2水曜日） ○消防設備等外観点検（月1回） ○居室点検（月1回）	○「蒲公英」発行（月1回） ○学生施設実習（随時）

4 障害児入所施設 障害者支援施設

桜ふれあいの郷

共同生活援助事業所 ふれあい

(1) 事業執行概要

利用者の自己選択と自己決定及び人格の尊重を基本に、次の事業を重点的に行った。

ア 生活介護や自立訓練(生活訓練)、就労継続支援B型の日中活動及び施設入所支援について、利用者の状況に応じた支援内容や作業種の見直し検討を行い、質の高いサービスの提供に努めた。

イ 倫理綱領及び職員行動指針の遵守を徹底するとともに、虐待防止委員会を中心とした自己チェックを実施するなど法令遵守、職員倫理の意識向上を図り、虐待防止に努めた。

ウ 利用者支援の質の向上のため、リスクの早期発見、改善に努める等リスクマネジメントを徹底するとともに、職員の資質向上を目的とした各種研修を実施した。

エ 福祉サービス第三者評価結果を踏まえ、運営における課題を把握し、サービスの質の向上に取り組んだ。

オ 在宅障害児者とその家族の支援について、相談支援事業や短期入所事業、日中一時支援事業を行うとともに、就労や地域生活に関して、職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業や障害者就業・生活支援センター事業を行い、関係機関との連携による職場への定着及び生活の安定向上に努めた。

また、障害福祉サービス等の利用計画の作成や、精神科病院からの退院者に対する地域生活移行の支援を実施した。

カ 就労継続支援B型において、利用者が生産したサツマイモ「紅あずま」を原料とした焼酎「郷のかおり」及び、付加価値を高めた3年古酒、並びに5年古酒を販売するなど、自主製品販売推進委員会を中心に販売促進に努めた。また、焼き菓子とパンの製造・販売やシルバー大学のユニホーム等のプリント加工・販売を行い、利用者の工賃向上に努めた。

キ 衛生管理や健康管理については、医療機関との連携のほか、利用者の体調急変に適切に対応できるよう、職員が救命救急講習会を受講するなど、健康で安全、安心な生活の場の提供に努めた。

ク 成年後見制度を有効に活用し、利用者の権利擁護に努めた。

コ 地域住民へのグラウンド・体育館の貸し出しを行うとともに、施設体験研修及び交流行事等を行い、施設の社会化や地域との交流に取り組んだ。

サ 施設建替整備については、基本設計の策定に向けて設計業者との打合せなどを行った。

シ 地域における公益的な取組として、栃木県障害・施設事業協会のセーフティネット拠点事業や、栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会のいちごハートネット事業の福祉相談（件数：6件）を実施した。

(2) 利用者の状況

障害児入所施設（利用定員 障害児入所支援 30名）

(人)

項目 年齢	性別/年度	年間延利用者数		月平均利用者数		3月31日現在 利用者数		入所		退所	
		28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
9歳以下	男	12	12	1.0	1.0	1	1				
	女										
10～14歳	男	68	60	5.7	5.0	7	5				
	女	12	12	1.0	1.0	1	1	1			
15～17歳	男	24	24	2.0	2.0	2	2				
	女	48	36	4.0	3.0	4	3	2			
18～19歳	男		24		2.0		1				1
	女	3	36	0.3	3.0	1	3	1	1		
20～24歳	男										
	女	12		1.0		1					
25～30歳	男	24	24	2.0	2.0	2	2				
	女	12	24	1.0	2.0	1	2				
31歳以上	男	60	60	5.0	5.0	5	5				
	女	57	60	4.8	5.0	5	5				
計	男	188	204	15.7	17.0	17	16				1
	女	144	168	12.0	14.0	13	14	4	1		
合計		332	372	27.7	31.0	30	30	4	1		1

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲

生活支援施設（利用定員 生活介護 150名 自立訓練 10名 施設入所支援 150名）

(人)

項目 年齢	性別/年度	年間延利用者数		月平均利用者数		3月31日現在 利用者数		入所		退所	
		28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
19歳以下	男										
	女										
20～29歳	男	84	96	7.0	8.0	7	8				
	女	12	36	1.0	3.0	1	2				1
30～39歳	男	84	84	7.0	7.0	7(1)	7			1(1)	
	女	108	96	9.0	8.0	10	8				
40～49歳	男	216	180	18.0	15.0	18	15	1			2
	女	154	120	12.8	10.0	12	10			1	2
50～59歳	男	180	144	15.0	12.0	16	12				1
	女	84	132	7.0	11.0	7	11		1		1
60～69歳	男	242	192	20.2	16.0	20	16	1		1	2
	女	237	156	19.8	13.0	18	13			1	1
70歳以上	男	72	132	6.0	11.0	9	11				1
	女	254	216	21.2	18.0	20	18	1		2	4
計	男	878	828	73.2	69.0	77(1)	69	2		2(1)	6
	女	849	756	70.8	63.0	68	62	1	1	4	9
合計		1,727	1,584	144.0	132.0	145(1)	131	3	1	6(1)	15

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲

就労支援施設（利用定員 生活介護 25 名 就労継続支援B型 55 名 施設入所支援 40 名）（人）

項目 年齢	性別/年度	年間延利用者数		月平均利用者数		3 月 31 日現在 利用者数		入所		退所	
		28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
20～29 歳	男	12	12	1.0	1.0	1	1				
	女										
30～39 歳	男	61	60	5.1	5.0	6	5		1		
	女	48	48	4.0	4.0	4	4				
40～49 歳	男	108	132	9.0	11.0	9	11		1		
	女	48	48	4.0	4.0	4	4				
50～59 歳	男	23	24	1.9	2.0	1	2			1	
	女	36	36	3.0	3.0	3	3		1		
60～69 歳	男	21	12	1.8	1.0	1	1			1	
	女	36	48	3.0	4.0	3	4				
70 歳以上	男	34	36	2.8	3.0	3	3	1			
	女	24	24	2.0	2.0	2	2				
計	男	259	276	21.6	23.0	21	23	1	2	2	
	女	192	204	16.0	17.0	16	17		1		
合計		451	480	37.6	40.0	37	40	1	3	2	

注）（ ）内は、3 月 3 1 日付退所者の再掲

共同生活援助事業所（利用定員 54 名）（人）

項目 年齢	性別/年度	年間延利用者数		月平均利用者数		3 月 31 日現在 利用者数		入所		退所	
		28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
19 歳以下	男		1		0.1		1		1		
	女										
20～29 歳	男	36	36	3.0	3.0	3	3				
	女	48	42	4.0	3.5	4	4		1		1
30～39 歳	男	48	48	4.0	4.0	4	4				
	女	36	36	3.0	3.0	3	3				
40～49 歳	男	70	72	5.8	6.0	6	6				
	女	72	72	6.0	6.0	6	6				
50～59 歳	男	48	24	4.0	2.0	4	2				
	女	96	92	8.0	7.7	8	7		1		1
60～69 歳	男	60	84	5.0	7.0	5	7				
	女	84	96	7.0	8.0	7	8				
70 歳以上	男	27	24	2.3	2.0	2	2				
	女	12	12	1.0	1.0	1	1				
計	男	289	289	24.1	24.1	24	25		1		
	女	348	350	29.0	29.2	29	29		2		2
合計		637	639	53.1	53.3	53	54		3		2

注）（ ）内は、3 月 3 1 日付退所者の再掲

(3) 事業実績

ア 事業一般

月		支援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	共通	○家族交流食事会	○身長測定		
	児童	○南那須特別支援学校入学式			
	生活	○春の旅			
	就労				
	グループホーム	○花見			
5	共通	○春のつどい	○結核検診 ○血圧測定 ○検尿		○さくら市一斉清掃
	児童	○外出			
	生活	○春の旅 〇外出			
	就労	○外出			
	グループホーム	○春のつどい			
6	共通		○血液検査 ○害虫駆除	○避難訓練（GH） （地震）	○サロン講座 ○相談支援実習（専門学校） ○初任者研修（教員） ○保育実習（学生）
	児童	○春の旅 〇外出 〇特別支援学校運動会			
	生活	○外出 〇春の旅			
	就労	○外出			
	グループホーム	○旅行			
7	共通		○子宮ガン検診 ○乳ガン検診	○消防設備点検	○サロン講座 ○相談援助実習（専門学校） ○保育実習（学生）
	児童	○外出			
	生活	○外出 〇あさみ祭り 〇「えりのあ」と一福社まつり			
	就労	○外出 〇家族食事会			
	グループホーム				
8	共通	○夏季家族交流	○子宮ガン検診 ○害虫駆除		
	児童	○納涼祭 〇利用者食事会 〇外出			
	生活	○外出 〇利用者食事会			
	就労	○外出 〇利用者食事会			
	グループホーム				
9	共通	○栃木県障害者スポーツ大会	○子宮ガン検診	○総合防災訓練	○サロン講座 ○初任者研修（教員） ○保育実習（学生）
	児童	○外出			
	生活	○秋の旅 〇外出			
	就労	○秋の旅 〇外出			
	グループホーム	○栃木県障害者スポーツ大会			
10	共通	○桜ふれあいの郷まつり	○心電図検査 ○血圧測定 ○検尿 ○害虫駆除	○ガス設備・器具点検	○初任者研修（教員） ○介護等体験（学生）
	児童				
	生活	○秋の旅 〇外出			
	就労	○外出 〇さくら市マラソン大会			
	グループホーム	○桜ふれあいの郷まつり 〇さくら市福祉祭り 〇熱田小学校運動会			
11	共通	○栃木県障害者文化祭	○インフルエンザ予防接種 ○血液検査 ○前立腺ガン検診		○サロン講座 ○栃木県障害者文化祭参加 ○初任者研修（教員）
	児童	○南那須特別支援学校こぼし祭り 〇外出			
	生活	○外出			
	就労	○秋の旅 〇外出			
	グループホーム	○支援センターふれあい交流会			
12	共通	○クリスマス会 〇冬季家族交流	○胃ガン検診		
	児童				
	生活	○那須烏山マラソン大会			
	就労	○那須烏山マラソン大会			
	グループホーム	○クリスマス会			
1	共通			○避難訓練（GH） （火災・洪水）	○産業現場等における実習 （富屋特別支援学校）
	児童	○外出			
	生活	○外出			
	就労				
	グループホーム	○映画鑑賞会			
2	共通				○さくら市一斉清掃 ○産業現場等における実習 （那須特別支援学校） ○サロン講座
	児童				
	生活	○外出 〇利用者食事会			
	就労	○外出			
	グループホーム	○映画鑑賞会			
3	共通	○家族食事会	○害虫駆除	○消防対象点検 ○消防設備総合点検 ○消防設備点検（GH）	
	児童	○南那須特別支援学校卒業式 〇外出 ○南那須特別支援学校高等部入学者選抜			
	生活	○外出 〇利用者食事会			
	就労				
	グループホーム	○総会			
定例			○嘱託医診療 内科（月2回） 整形外科（月2回） ○体重測定（月1回） ○理髪（隔月） ○歯科治療（週1回） ○リハビリテーション（毎日）	○避難訓練（月1回） ○消火栓点検（年2回） ○消火器・誘導灯点検（毎日） ○防災委員会（年2回） ○消防用設備等自主点検（年2回）	○学生施設実習（随時） ○衛生委員会事業（月1回） ○体育館・グラウンドの地域への貸出し ○総合防災訓練の地域への連絡 ○イベント等での生産物販売

イ 就労支援事業

(7) 農園部

年度		2 8		2 9	
区分	項目	出荷量 (kg)	出荷額 (円)	出荷量 (kg)	出荷額 (円)
果樹科		685. 6	232, 850	427. 0	117, 400
農産科		30, 826. 9	6, 488, 725	19, 359. 4	4, 379, 993
合計		-----	6, 721, 575	-----	4, 497, 393

(イ) 受託部

区分	年度	2 8		2 9	
	項目	個数（個）	出荷額（円）	個数（個）	出荷額（円）
加工科		4, 887, 774	4, 123, 689	6, 389, 857	4, 640, 884
クリーニング科			2, 261, 412		2, 261, 412
除草作業			1, 320, 000		1, 536, 000
合計		-----	7, 705, 101	-----	8, 438, 296

(ウ) 製造部

年度		2 8		2 9	
区分	項目	個数（個）	出荷額（円）	個数（個）	出荷額（円）
焼き菓子		33, 131	1, 534, 960	37, 209	1, 692, 130
パン		22, 502	2, 102, 200	22, 279	2, 191, 990
合計		-----	3, 637, 160	-----	3, 884, 120

(エ) 雑収入

区分	年度	2 8		2 9	
	項目	個数（個）	出荷額（円）	個数（個）	出荷額（円）
資源ごみリサイクル			20, 552		98, 454
合計		-----	20, 552	-----	98, 454

(オ) 工賃

区分 \ 年度		就労継続支援B型	
		2 8	2 9
総支給額 (円)	A	1 0, 6 5 9, 2 3 3	9, 9 1 0, 4 6 5
支給人数 (人)	B	5 9	5 3
平均支給額 (円)	A / B	1 8 0, 6 6 5	1 8 6, 9 9 0
最高支給額 (円)		3 0 8, 1 7 9	2 8 4, 1 6 4
最低支給額 (円)		3 1, 2 4 6	3 1, 6 1 0

注) 最高及び最低支給額は、年度を通してその事業を利用した者の場合を示す。

ウ その他の事業

(人)

項目 区分	拠点区分	延人数	実人数	備考
短期入所事業（介護給付費）	児童	0(0)	0(0)	
	生活	415(386)	6(7)	福祉型Ⅰ 257(179) 福祉型Ⅱ 158(201) 福祉型Ⅲ 0(6)
	就労	39(0)	3(0)	福祉型Ⅰ 31(0) 福祉型Ⅲ 8(0)
	計	454(386)	9(7)	
日中一時支援事業 (地域生活支援事業)	生活	2,013(2,409)	21(27)	4時間未満 H29 69.4% H28 70.0%
		625(724)	22(25)	4時間以上8時間未満 H29 21.5% H28 21.1%
		265(306)	15(20)	8時間以上 H29 9.1% H28 8.9%
	計	2,903(3,439)	24(30)	
職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業	グループホーム	利用者支援	43件(52件)	訪問型職場適応援助者を1名配置
		ケース会議等	4件(8件)	
障害者就業・生活支援センター	グループホーム	相談支援件数	3,236件(3,854件)	平成19年度から県の委託(7件) 平成20年度から国の採択を受け実施 平成25年度から就業支援担当を1名増
		個別支援計画書作成件数	44件(49件)	
		基礎訓練実施件数	5件(3件)	
		職場実習件数	23件(26件)	
		就職件数	44件(50件)	
		相談・支援を行った事業所数	128か所(129か所)	
		事業主相談・支援件数	879件(921件)	
相談支援事業	グループホーム	1,498件(1,476件)	86件(92件)	さくら市受託事業
		計画相談支援	538件(564件)	サービス利用支援 174件(374件) 継続サービス利用支援 364件(190件)
		障害児相談支援	59件(57件)	障害児支援利用援助
		機関紙発行	1回(1回)	施設単独事業
障害支援区分認定調査業務	グループホーム		41件(33件)	さくら市受託事業
移動支援事業	グループホーム	266(219)	54(53)	契約市町 21(21)
福祉サロン	グループホーム	1,529(1,463)	118(178)	グループホーム利用者 1,391(91%) 在宅障害者 80(5%) 地域住民 58(4%)

注) () 内は、平成28年度の実績を示す。

(1) 事業執行概要

利用者の自己選択と自己決定及び人格の尊重を基本に、次の事業を重点的に行った。

ア 生活介護、就労継続支援B型の日中活動及び施設入所支援について、利用者の状況に応じて支援内容の見直し検討を行い、質の高いサービスの提供に努めた。

イ 地域での生活を支援するため、在宅障害者とその家族に対し、援護の実施及び相談支援事業者等と連携した相談支援を行い、当園のサービス利用ができるよう努めた。

ウ 福祉サービス第三者評価の結果を踏まえた改善に取り組み、サービスの質の向上に努めた。また、介護技術等に関する研修へ職員を派遣し、支援の質の向上に努めた。

エ 利用者の健康管理については、嘱託医や協力医療機関との連携を図り、疾病予防と再発防止に努めるとともに、看護師による職員研修を行い、安全で質の高い医療的ケアの提供に努めた。

また、臨床検査結果を踏まえた管理栄養士による栄養管理、個別の栄養相談を継続するとともに、看護師や生活支援員と連携し、摂食状況の変化に留意したケア及び口腔ケアの提供に努めた。

オ インシデント・アクシデント報告により自己の再発防止に取り組むとともに、防犯訓練の実施や押上小学校の協力を得た総合洪水避難訓練により、職員の危機意識及び防災意識を高めるなど、利用者の安全確保に努めた。

また、苦情に対し迅速に対応するとともに、利用者自治会や家族会との話し合いを行うなど、良質なサービスの提供に取り組んだ。

カ 権利擁護委員会及び虐待防止委員会を開催するとともに、障害者虐待防止法や差別解消推進条例に関する研修の実施、受講により、障害への理解と虐待防止に努めた。

キ シルバー大学校学生や中学生等の施設体験研修の受け入れや、ボランティアの協力による各種行事の実施など、地域との交流を積極的に行った。

また、ホームページの更新を随時行い、施設の情報を広く公開するとともに利用者とその家族に周知を図った。

ク 就労支援事業については、各種イベントでの販売を通し、自主製品の販路の確保に努めた。

ケ 地域生活への移行については、対象者の身体状況及び意識の変化に留意し、随時アセスメントを実施するなど意識向上に努めた。

コ 施設の建替整備については、利用者の安全確保を最優先に、振動、騒音など生活への影響が最小限となるよう配慮しながら第4期工事を進め、2月に完了した。

サ 地域における公益的な取組として、栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会のいちごハートねっと事業に参加した。

(2) 利用者の状況

生活支援施設（利用定員 生活介護 53 名 施設入所支援 50 名）

(人)

年齢	項目	年間延利用者数		月平均利用者数		3月31日現在 利用者数		入所		退所	
	性別/年度	28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
18～29 歳	男		7		0.6		1		1		
	女										
30～39 歳	男	12	16	1.0	1.3	1	2		1		
	女	14	11	1.2	0.9	1		2		1	
40～49 歳	男	28	36	2.3	3.0	3	3	1			
	女	13	22	1.1	1.8	2	2	1			
50～59 歳	男	82	89	6.8	7.4	8	6	2		1	
	女	36	34	3.0	2.8	3	4		1		
60～69 歳	男	108	112	9.0	9.3	9	11		1	2	
	女	60	69	5.0	5.8	5	5			1	1
70 歳以上	男	100	94	8.3	7.8	8	6	1		1	3
	女	115	96	9.6	8.0	9	7			2	2
計	男	330	354	27.5	29.5	29	29	4	3	4	3
	女	238	232	19.8	19.3	20	18	3	1	4	3
合計		568	586	47.3	48.8	49	47	7	4	8	6

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲

就労支援施設（利用定員 生活介護 45 名 就労継続支援B型 20 名 施設入所支援 50 名）

(人)

年齢	項目	年間延利用者数		月平均利用者数		3月31日現在 利用者数		入所		退所	
	性別/年度	28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
18～29 歳	男	12	9	1.0	0.8	1					
	女										
30～39 歳	男	12	15	1.0	1.3	1	2				
	女	12	18	1.0	1.5	1	2		1		
40～49 歳	男	36	36	3.0	3.0	3	3				
	女	31	36	2.6	3.0	3	3	1			
50～59 歳	男	77	83	6.4	6.9	7	7	2	2	1	
	女	36	36	3.0	3.0	3	3				
60～69 歳	男	231	230	19.3	19.2	19	18			1	2
	女	24	24	2.0	2.0	2	2				
70 歳以上	男	81	64	6.8	5.3	6(1)	5			2(1)	1
	女	36	36	3.0	3.0	3	3				
計	男	449	437	37.4	36.4	37(1)	35	2	2	4(1)	3
	女	139	150	11.6	12.5	12	13	1	1		
合計		588	587	49.0	48.9	49(1)	48	3	3	4(1)	3

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲

(3) 事業実績

ア 事業一般

月	支援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	共通		○防災教育 (新任者・転任者)	
	生活	○花見		
	就労	○お楽しみ会		
5	共通	○食事会	○結核検診	
	生活			
	就労	○旅行 ○お楽しみ会		
6	共通		○子宮ガン検診	○施設見学 (さくら市民生委員児童委員) ○施設見学 (宇都宮中央病院)
	生活	○子犬とのふれあい教室 ○レクリエーション		
	就労	○旅行		
7	共通		○子宮ガン検診	○施設見学 (のざわ特別支援学校親子)
	生活	○劇団玉手箱公演		
	就労	○旅行 ○かたりべ(さくら民話の会)		
8	共通		○普通救命講習	○地域活動実習 (シルバー大学校)
	生活	○シルバー大学校ボランティア公演		
	就労	○お盆中お茶会 ○お楽しみ会		
9	共通		○施設巡回歯科相談	○施設見学 (のざわ特別支援学校)
	生活	○食事会		
	就労	○栃木県障害者スポーツ大会 ○旅行 ○お楽しみ会		
10	共通	○家族交流食事会(さくら会主催)	○心電図検査 ○乳ガン検診 ○結核検診	○施設見学(悦山荘家族会) ○施設体験実習 (さくら清修高校)
	生活	○レクリエーション		
	就労	○旅行 ○レクリエーション		
11	共通		○インフルエンザ予防接種	○福祉学習会(押上小学校)
	生活			
	就労	○お楽しみ会		
12	共通		○血液検査	○施設体験学習 (さくら清修高校)
	生活	○クリスマス会&忘年会		
	就労	○クリスマス会&忘年会		
1	共通		○肺炎球菌予防接種	○普通救命講習
	生活	○新年会 ○レクリエーション		
	就労	○新年会		
2	共通	○食事会(さくら会主催)		
	生活	○節分		
	就労	○お楽しみ会		
3	共通			○総合防災訓練
	生活	○ひなまつり ○家族食事会、懇親会 ○劇団やすらぎ公演		
	就労	○お楽しみ会		
定 例	共通	○映画会(月1回) ○外出	○嚥下健康相談 内科・整形外科(月2回) ○体重・血圧測定(毎日) ○歯科治療(随時)	○避難訓練(月1回) ○防犯訓練(月1回) ○消防設備保守点検 (年2回) ○火気・閉鎖障害点検 (毎日)
	生活	○小グループ活動 (毎週水曜日午前)		
	就労			

イ 就労支援事業

(ア) 受託部

年度		2 8		2 9	
区分	項目	個数 (個)	金額 (円)	個数 (個)	金額 (円)
加工科		1, 881, 306	7, 949, 027	2, 162, 202	9, 166, 606
	部品加工	921, 488	4, 044, 828	928, 747	4, 149, 805
	線香箱詰め等	560, 576	2, 065, 489	577, 120	2, 052, 486
	ゴム製品の加工	334, 102	1, 442, 565	353, 040	1, 415, 757
	ラジエーター部品の加工	43, 124	308, 340	303, 295	1, 548, 558
	ニラ袋詰め	22, 008	71, 305		
	看板ステッカー貼付	8	16, 500		
クリーニング科			1, 057, 536		1, 057, 536
リサイクル科		24, 735	256, 092	16, 080	229, 834
合計		-----	9, 262, 655	-----	10, 453, 976

(イ) 製造部

区分	年度	2 8		2 9	
	項目	個数 (個)	金額 (円)	個数 (個)	金額 (円)
お手拭き ドレス		46	22, 750		
小物		756	181, 535	986	212, 053
草木染		425	682, 770	271	350, 670
合計		1, 227	887, 055	1, 257	562, 723

(ウ) 工賃

区分 \ 年度	生活介護		就労継続支援 B 型	
	2 8	2 9	2 8	2 9
総支給額 (円) A	4, 050, 230	3, 809, 293	4, 587, 609	5, 661, 275
支給人数 (人) B	48	47	25	26
平均支給額 (円) A／B	84, 380	81, 049	183, 504	217, 741
最高支給額 (円)	200, 673	199, 145	276, 454	367, 221
最低支給額 (円)	52, 872	37, 642	80, 379	107, 692

注) 各事業の最高及び最低支給額は、年度を通してその事業を利用した者の場合を示す。

ウ その他の事業

(人)

区分 \ 項目	拠点区分	延人数	実人数	備考
短期入所事業 (介護給付費)	生活	1, 069 (945)	16 (15)	
	就労	72 (261)	8 (11)	
	計	1, 141 (1, 206)	24 (26)	
日中一時支援事業 (地域生活支援事業)	生活	196 (232)	5 (5)	
	就労	17 (8)	1 (2)	
	計	213 (240)	6 (7)	

注) () 内は、平成 2 8 年度の実績を示す。

6 保育所 宝木保育園

(1) 事業執行概要

宝木保育園の基本方針及び保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考えた保育サービスの提供に努め、地域に開かれた保育所を目指し、地域の子育て拠点として、子育て相談や交流事業、ボランティアの受入れ等を継続的に実施した。

ア 延長保育、休日保育及び一時保育を実施することにより、就労形態の多様化に対応した保育サービスの充実を図った。

また、延長保育では、低所得世帯に対する経済的な負担軽減を図るため、利用料の減免を開始した。

イ 子ども一人ひとりの豊かな感性・情操を高めることを目的に、「こころ・からだ・げんき・宝木っ子」と題し、外部講師によるリトミック・英語・運動を定期的の実施するとともに、職員を対象とした研修を実施し、常時保育にも取り入れていくことで、日々の保育の充実を図った。

ウ 家庭保育に対する理解と関心を深めるため、保育参観や保育体験を通年で実施するなど、保護者に園児の日常を見てもらう機会を設けた。

エ 県立聾学校幼稚部との交流保育や地域の保育所や小学校の行事への参加を通し、異年齢児との交流を図るとともに、地域のシルバーボランティアによる絵本の読み聞かせ、四季折々の行事への参加などにより、世代間交流を深めた。

オ 安全な食事を提供するため、日々の食材管理や放射性物質検査を継続的に実施した。食育については、「食を営む力」の基礎を培うことを目標に、野菜づくりやクッキングを実施するなど、食材や人に対する感謝の気持ちを育んだ。

また、アレルギー除去食や体調に合わせた食事の提供を行った。

カ 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）においては、地域の親子が気軽に利用できるよう努めるとともに、子育てに関する情報発信や相談等の受入れ等地域の子育て拠点としての役割を果たした。

(2) 利用者の状況（利用定員 160名） (人)

項目		年間延利用者数		月平均利用者数		3月31日現在 在籍者数		入 所		退 所	
年齢	年度	28	29	28	29	28	29	28	29	28	29
乳 児	0歳児	213	202	17.7	16.8	22	20	18	17	1	1(1)
	1歳児	356	360	29.7	30.0	29	30	16	11	1	1(1)
	2歳児	380	359	31.7	29.9	32	30	1	1	3(2)	2(2)
幼 児	3歳児	356	382	29.7	31.8	29	32	1	3	2	1
	4歳児	360	347	30.0	29.0	30	28	0	0		1
	5歳児	336	372	28.0	31.0	28	31	1	1	28(28)	31(31)
合 計		2,001	2,022	166.8	168.5	170	171	37	33	35(30)	37(35)

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲

(3) 事業実績

ア 事業一般

月	支援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	○入園式 ○お花見会（卒園児との交流） ○保護者会総会 ○保護者とのクラス懇談会			
5	○こどもの日のつどい ○園外保育（3・4・5歳児） ○春の遠足（3・4・5歳児）	○健康診断 ○尿検査 ○放射性物質検査（調理済）		
6	○保育参観（4・5歳児） ○聾学校との交流	○歯科検診 ○害虫駆除		
7	○夏まつり （卒園児・高齢者との交流） ○七夕まつり ○保護者体験保育（2月まで） ○プール開き ○お泊り保育（5歳児）	○害虫駆除		
8	○宮っこパレード（4・5歳児）	○厨房クリーニング		
9	○遠足（2歳児）	○害虫駆除	○消防用設備保守点検 ○竜巻想定避難訓練	○宇都宮市北生涯学習センター文化祭（作品展示）
10	○運動会（卒園児・高齢者との交流） ○園外保育（4歳児） ○親子レクリエーション（3歳児）		○交通安全教室 ○総合防災訓練	○宮っこフェスタ ○栃木県障害者文化祭
11	○園外保育（3・4・5歳児） ○マラソン大会（聾学校との交流） ○クラス懇談会・親子観劇会	○健康診断 ○尿検査	○不審者想定避難訓練	
12	○修園旅行（5歳児） ○おゆうぎ会（卒園児交流） ○クリスマス会（高齢者との交流）	○害虫駆除		
1	○お正月あそび （卒園児・高齢者との交流） ○お別れ遠足（高齢者との交流） ○聾学校との交流	○歯科検診		○あゆみ北保育園コンサート
2	○節分 ○保護者との個人面談 ○新入園児説明会及び面接			
3	○人間びな撮影（高齢者との交流） ○新入園児説明会及び面接 ○ひなまつり ○お別れ会食 ○卒園式		○消防用設備保守点検 ○不審者想定避難訓練	
定例	○誕生会（月1回） ○リトミック教室（年10回） ○英語教室（年10回） ○体操教室（年6回） ○サッカー教室（年5回） ○食育（食育だより年3回発行） ○保健（保健だより年3回発行）	○身体計測（月1回） ○空間放射線量率測定（月1回） ○環境整備（月1回）	○避難訓練（月1回） ○消火器取扱訓練（1回） ○機械警備委託	○宮っこチャレンジ受入 ○学生保育実習 ○子育て相談事業 ○ボランティア受入 ○高校生体験学習 ○朗読ボランティア（月1回） ○図書ボランティア（毎週金曜日） ○わくわく体験受入

7 栃木県障害者保養センター那珂川苑 身体障害者福祉センター（障害者更生センター）

(1) 事業執行概要

指定管理者として、障害者とその家族が気軽に宿泊、休養し、レクリエーション等を通して、相互の触れ合いと親睦を深められるよう次の事業を重点的に行った。

ア 専門的で質の高いサービスを提供していくため、アンケートの実施等により、利用者ニーズの的確な把握に努めた。

イ 利用者の個々の障害に応じたきざみ食や減塩食などを提供したほか、家庭的な温かみのある食事の提供に努めた。また、地元特産品の温泉トラフグ、八溝ししまる、ホンモロコをセットにした「那珂川三昧」を提供した。

ウ 専門性を有する職員による入浴介助サービスを行い、日々の介護にあたる家族の介護疲れを和らげるように努めた。

エ 障害者の雇用促進や就労訓練に積極的に取り組むとともに、障害者の作品販売コーナー「福祉の店」の品揃えの充実や、地元工芸作家の作品展示・販売を行い、特色ある施設づくりを推進した。

オ 利用者に楽しく過ごしていただけるよう客室前廊下の壁面を「那珂川苑ギャラリー」と称して、障害者の作品やシルバー大学校学生、地元作家等の作品（絵画、写真、書、切り絵等）を常設展示し、作品発表と美術鑑賞の場として提供した。

カ 多様な誘客活動を行い、施設の利用促進に努めた。

- ・県内の福祉施設、特別支援学校のほか、近県の市・区役所や社会福祉協議会等への訪問営業
- ・道の駅ばとうや栃木県なかがわ水遊園での街頭宣伝
- ・ダイレクトメールの送付や栃木県及び東京都における新聞広告
- ・インターネット予約受付や閑散期の温泉トラフグ料理の割引など各種キャンペーン

キ 那珂川苑芸術祭や障害者週間事業、お楽しみ演芸会（まほろばがたり、マジックショー、漫談）、日曜朝市など、様々なイベントを実施し、施設のイメージアップと馬頭温泉郷のアピールを図った。

ク 館内外の点検や清掃、施設整備及び防災対策を計画的に実施し、障害者をはじめとした利用者が安全で快適に利用できる施設づくりに努めた。

(2) 事業実績

ア 宿泊利用状況（利用定員 80名）

（人）

利用者別	項目	年間利用者数		月平均利用者数	
	年度	28	29	28	29
障害者	大人	8,174(72.5)	7,650(70.0)	681.2	637.5
	小人	182(1.6)	214(2.0)	15.2	17.8
	計	8,356(74.1)	7,864(72.0)	696.4	655.4
その他	大人	2,751(24.4)	2,866(26.2)	229.2	238.8
	小人	167(1.5)	193(1.8)	13.9	16.1
	計	2,918(25.9)	3,059(28.0)	243.1	254.9
合 計		11,274(100.0)	10,923(100.0)	939.5	910.3

注) () 内は、構成比(%)を示す。

イ 宿泊稼働率状況 (％)

区分	項目	年間稼働率	
	年度	28	29
定員稼働率		38.6	37.4
客室稼働率		67.2	67.8

ウ 休憩利用状況 (人)

区分	項目	年間利用者数		月平均利用者数	
	年度	28	29	28	29
一律		2,759	2,859	229.9	238.3

エ 送迎バス利用状況

区分	項目	年間運行回数 (回)		年間走行キロ数 (km)		年間利用者数 (人)	
	年度	28	29	28	29	28	28
利用回数等		125	111	20,159	17,889	2,710	2,130

オ 入浴介助実施状況 (人)

区分	年度	28	29
実人数		58	52
延人数		94	115

カ イベントの実施状況

実施年月日	イベント名	備考
毎月第1土曜日	まほろばがたり	町文化協会語り部部
毎月第3土曜日	お楽しみ演芸会	マジックショーと漫談
毎週日曜日	日曜朝市	地元野菜等の販売
29.4～	二次会場 (ラウンジ) カラオケ無料デー	宿泊利用者が20名以下の日は、宿泊者のカラオケ無料
29.4.1～30	さくら茶サービス	チェックイン時無料サービス
29.4.1～5.31	湯めぐりスタンプラリー	協賛事業 (榊木放送主催)
29.4.29～5.5	花の風まつり	協賛事業 (那珂川町主催 休憩・入浴の無料提供)
29.6.10・11・15	「県民の日」無料開放	延利用者数208名 餅の配布、演芸会、カラオケ、アロママッサージ、焼鳥販売等

実施年月日	イベント名	備考
29. 7. 15～9. 18	しそジュースサービス	チェックイン時無料サービス
29. 7. 15～10. 31	湯めぐりスタンプラリー	協賛事業（栃栃木放送主催）
28. 8. 1～31	花火セットサービス	夏休み期間中、小学生以下の子供連れ家族等に花火セットを提供
29. 8. 25 30. 3. 16	リハビリ相談会	希望する宿泊利用者を対象に那珂川苑にて作業療法士による相談を実施
29. 12. 8	クリスマスツリー作り体験	希望する宿泊利用者を対象に那珂川苑にてリース作り体験を実施
29. 12. 3～9	障害者の日記念事業	県内福祉施設紹介及び作品販売 福祉施設 清風園・桜ふれあいの郷（さくら市） みつわ工房・やみぞひまわり（那須烏山市） ぼら一れ・那珂川町社協・もうひとつの美術館（那珂川町）
29. 12. 1～30. 3. 10	甘酒サービス	チェックイン時無料サービス
30. 1. 1～3	新春企画	初詣送迎サービス、餅の無料配布、ドリンクサービス
30. 1. 26	開設記念事業	記念品進呈、パネル展示、ちんどん披露
30. 1. 4～3. 31	閑散期スペシャルキャンペーン	フグ料理を 20%引きで提供

キ 保健衛生

実施事項	実施年月日	備考
健康診断	29. 12. 12	全職員 栃木県保健衛生事業団
検便	29. 8. 18 30. 2. 5	全職員 栃木県保健衛生事業団
	毎月 1 回	調理関係職員 栃木県保健衛生事業団

ク 防災対策

実施事項	実施年月日	備考
総合防災訓練	29. 10. 26 30. 2. 16	那珂川苑（消防署立会い）
消防設備保守点検	29. 9. 12 30. 2. 26	栃木県消防設備保守協会

8 とちぎ健康づくり・とちぎ生きがいつくりセンター

(1) 事業執行概要

ア とちぎ健康づくりセンター

県民の一人ひとりが生涯にわたり健康でいきいきと暮らせる、豊かで活力ある“健康長寿とちぎ”の創造を目指し、県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため各事業を実施した。

(7) 施設利用講習及び施設利用カードの更新

施設利用に当たっては、施設利用講習を要件とし、安全で効果的な運動実践のきっかけづくりや運動習慣化につなげるための説明及びトレーニング講習を行った。

また、施設利用カード更新時に健康状態の確認を行い、必要な者には保健師等による面接を行った。

(イ) 体力測定

利用者が自分の体力を知り、安全で効果的な運動実践ができるよう、希望者に体力測定を実施した。

(ロ) 簡易測定

体組成及び活動量測定、食物摂取頻度調査を実施し、利用者が気軽に健康状況を把握できる機会を提供した。

(エ) 運動実践メニューの作成

体力測定受検者のうち、希望者には、個人の目的や健康状態に応じて運動実践メニューを作成し、健康づくりを効果的・効率的に継続実践できるよう支援した。

(オ) 健康づくり相談等

施設利用者及び県民を対象に、運動・栄養・休養等の個別相談指導を行った。

また、協力機関の栃木県保健衛生事業団と連携し、医師による健康相談やミニ健康まつりを開催した。

(カ) 施設利用指導

施設利用者を対象に、温水プール、トレーニング室、ランニングデッキ及びリラクゼーションルームの施設利用指導を行った。

(キ) 健康づくり講座

運動の安全性・有効性や生活習慣病予防、介護予防、親子健康づくり等の講座を開催し、健康づくりのための運動習慣の動機付けを行った。

(ク) 集団指導

運動の継続的な実践を目的に、施設利用料金の中で参加できる集団指導を実施した。

(ケ) 普及啓発

県民への健康づくり情報等の提供と健康増進への普及啓発を行った。

(コ) 市町等支援

市町の健康づくり事業支援及び各種団体等からの要請に応じ、講師として職員を派遣した。

(サ) センター施設等の維持管理

とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの利用者が安全・安心して利用できるよう、施設内外の設備整備及び環境整備を行い、施設の適正な維持管理に努めた。

(シ) 情報提供及び広報活動

県所管課等との連携により、健康づくりキャンペーン等に合わせて、健康づくりに関する様々な情報を健康情報提供コーナーで紹介した。

また、本年度は、「開設20周年記念とちぎ健康の森フェス2017」を開催し、地域住民や他関係機関と連携し、記念講演会をはじめ屋内外で様々な催しを行い、多くの県民の来場があった。その他、健康の森を題材にした写真展、健康や運動をテーマにした川柳コンテスト及び健康づくりを目的としたウォーキング教室等、年間を通してイベントを開催した。

ホームページや情報誌「さんぽ」（年2回発行）等において情報の提供を行ったほか、民間の生活情報サイトを活用した広報活動を実施した。

(ス) 利用者サービスの向上

質の高いサービスの提供や魅力ある施設づくりのために利用者へのアンケート調査等を行い、施設に対する満足度や要望を把握するとともに、利用者からの苦情等に誠意を持って迅速・適切に対応するなど、施設や業務の改善に努めた。

また、利用開始時間の繰り上げや家庭の日における運動フロア無料開放については年間を通して継続して実施した。なお、7月から9月までの3か月間において、利便性の向上を図るため、試行的に終了時間の延長を実施し、日・祝日の終了時間2時間延長については大きな効果が得られた。

(セ) 連絡調整

入居団体との連絡調整を行うほか、とちぎリハビリテーションセンター、わかくさ特別支援学校と緊密な連携を図り、防火・防災・防犯対策等、とちぎ健康の森全体の管理運営に努めた。

イ とちぎ生きがいづくりセンター

高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を構築するため、栃木県シルバー大学校を運営し、積極的に地域活動を実践する高齢者の養成を図るとともに、高齢社会を豊かに過ごせるよう必要な知識・教養を身に付けるための各種学習機会を提供した。

(2) 事業実績

ア 健康づくりセンターの利用状況(1)

(時間)

区分		項目	年間利用時間		月平均利用時間	
		年度	2 8	2 9	2 8	2 9
大会議室			1,423	1,424	118.6	118.7
小会議室			1,256	1,209	104.7	100.8
多 目 的 フ ロ ア	A全面		1,002	1,037	83.5	86.4
	A2/3面			20		1.7
	A1/2面		134	93	11.2	7.8
	A1/3面					
	B		647	629	53.9	52.4
	C		947	1,165	78.9	97.1
	計		2,730	2,944	227.5	245.4
エアロビクススタジオ			1,438	1,369	119.8	114.1
運 動 フ ロ ア	全面		360	457	30.0	38.1
	1/2面		264	406	22.0	33.8
	1/3面		698	674	58.2	56.2
	1/6面		134	226	11.2	18.8
	計		1,456	1,763	121.4	146.9
合計			8,303	8,709	692.0	725.9

イ 健康づくりセンターの利用状況(2)

(人)

区分		項目	年間利用者数		月平均利用者数	
		年度	2 8	2 9	2 8	2 9
施設利用講習	大人		2,642	2,471	220.2	205.9
	小人		193	163	16.1	13.6
	計		2,835	2,634	236.3	219.5
施設利用カード更新	更新者数		1,052	1,954	87.7	162.8
	面接者数 (再掲)		367	672	30.6	56.0
体力測定			423	327	35.3	27.3
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム			80,056	81,879	6,671.3	6,823.3
合計			84,366	86,794	7,030.6	7,232.9

ウ 健康づくりセンターの利用状況(3)

(上段：人、下段：回)

区分	項目	年間利用者数		月平均利用者数	
	年度	2 8	2 9	2 8	2 9
施設利用講習	受講者数	2,835	2,634	236.3	219.5
	実施回数	191	187	15.9	15.6
体力測定	受検者数	423	327	35.3	27.3
	実施回数	137	133	11.4	11.1
簡易測定	受検者数	13	54	1.1	4.5
	実施回数	13	54	1.1	4.5
健康づくり講座	受講者数	1,663	1,900	138.6	158.3
	実施回数	18 種 110	18 種 104	9.2	8.7
集団指導	受講者数	12,301	12,324	1,025.1	1,027.0
	実施回数	24 種 649	22 種 648	54.1	54.0
計	受講者数等	17,235	17,239	1,436.4	1,436.6
	実施回数	1,100	1,126	91.7	93.9

注) 健康づくり講座については、介護予防事業(シルバー大学校)等を含む。

エ 生きがいづくりセンターの利用状況

(時間)

区分	項目	年間利用時間		月平均利用時間	
	年度	28	29	28	29
講堂		729	711	60.8	59.3
演習室	A	518	575	43.2	47.9
	B	282	439	23.5	36.6
多目的ホール		402	335	33.5	27.9
教室	A	519	436	43.3	36.3
	B	322	289	26.8	24.1
	C	396	380	33.0	31.7
	D	284	252	23.7	21.0
	E	79	86	6.6	7.2
	F	520	497	43.3	41.4
和室		188	147	15.7	12.3
テニスコート		3,241	3,119	270.1	259.9
県南支所	教室A	151	150	12.6	12.5
	教室B				
	教室C	224	198	18.7	16.5
	教室D	72	70	6.0	5.8
	教室E				
	教室F	124	142	10.3	11.8
	演習室				
	和室	154	184	12.8	15.3
	屋外運動場				
	講堂兼体育館	4	3	0.3	0.3
県北支所	教室A	333	346	27.8	28.8
	教室B	291	230	24.3	19.2
	教室C	144	144	12.0	12.0
	教室D	169	201	14.1	16.8
	教室E	77	78	6.4	6.5
	教室F	96	132	8.0	11.0
	演習室	49	111	4.1	9.3
	和室				
	多目的ホール	153	166	12.8	13.8
合計		9,521	9,421	793.7	785.2

オ 栃木県シルバー大学校学生数（平成30年3月31日現在）

(人)

学校名（期別定員）	期別	38期生			39期生			合計		
	性別	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中央校(320)		148	133	281	126	142	268	274	275	549
南校(120)		61	63	124	57	57	114	118	120	238
北校(120)		44	53	97	45	37	82	89	90	179
合計(560)		253	249	502	228	236	464	481	485	966

9 高齢者生きがいつくり支援事業

(1) 事業執行概要

ア ねんりんピックとちぎ開催事業

高齢社会がより明るく生きがいのある社会となるよう、高齢者のスポーツ、レクリエーション、文化活動や創作活動等、健康と生きがいつくりの支援を図るスポーツ・文化交流大会やシルバー作品展を5月に県内4市2町で開催した。

また、シルバー作品展及び文化交流大会については、「開設20周年記念とちぎ健康の森フェス2017」と同時開催し、競技団体の協力による体験会等を実施するなど、多くの県民の来場があった。

イ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣事業

9月開催の「第30回全国健康福祉祭あきた大会」へ145名の選手派遣を行った。

また、「開設20周年記念とちぎ健康の森フェス2017」において、体験コーナーを設け、全国大会出場選手の活用を図った。

ウ 生きがい推進員運営事業

生きがい推進員の地域活動をより発展拡充させるため、各市町や関係機関等との連携を深めるとともに、地域文化の伝承や世代間交流の促進を図る伝承講座の開催を支援する等、地域における活動の体制づくりを推進した。

エ 介護保険制度関連事業

介護保険制度における指定試験実施機関として、10月に介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

また、介護支援専門員の資質向上を目的とした指定研修実施機関として、試験合格者に対する研修、現任者に対する法定研修、実習指導者養成研修、指導者養成研修専門研修を実施した。

オ 情報提供事業

高齢者がいきいきと明るく豊かな生活を送れるよう、情報誌「いきいきとちぎ」を年4回発行し、高齢者情報を中心に、就労、社会活動、スポーツ大会等イベントに関する情報の提供を行った。

カ 賛助会員事業

賛助会員制度の普及と加入を促進するため、当協会が実施する事業等において賛助会員制度のPRを行った。また、イベントや情報誌において賛助会員の紹介等を行った。

(2) 事業実績

ア イベントの開催状況

イベント名	実施日	実施会場
ねんりんピックとちぎ2017	29.5.7～5.28	とちぎ健康の森他
第30回全国健康福祉祭あきた大会	29.9.9～9.12	秋田県各市町村

イ 介護支援専門員実務研修受講試験事業

区分 \ 年度	28	29
実施日	28.10.2	29.10.8
申込者数(人)	1,677	1,803
受験者数(人)	1,487	1,598
合格者数(人)	205	358
合格率(%)	13.8	22.5

ウ 介護支援専門員研修

研修名(法定)	年度	28		29		備考
	区分	実施日	受講者等(人)	実施日	受講者等(人)	
介護支援専門員実務研修		28.12 ～29.3	受講者数 187 修了者数 186	29.12 ～30.3	受講者数 347 修了者数 343	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対する研修
介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅰ)		28.6～9	受講者数 121 修了者数 117	29.6～9	受講者数 143 修了者数 141	就業後6ヵ月以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅱ)		28.6～11	受講者数 117 修了者数 117	29.8～ 12	受講者数 219 修了者数 216	就業後3年以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員研修		28.11 ～29.2	受講者数 59 修了者数 59	29.12 ～30.2	受講者数 65 修了者数 64	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技能を修得する研修
介護支援専門員更新研修 (実務未経験者)		28.12 ～29.3	受講者数 42 修了者数 37	29.12 ～30.3	受講者数 69 修了者数 65	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新研修 (実務経験者)		28.6～11	受講者数 183 修了者数 173	29.6～ 12	受講者数 234 修了者数 231	
介護支援専門員再研修		28.12 ～29.3	受講者数 78 修了者数 77	29.12 ～30.3	受講者数 77 修了者数 74	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修
主任介護支援専門員更新研修		28.1～12	受講者数 98 修了者数 93	29.10～ 11	受講者数 156 修了者数 154	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たすために必要な能力の保持・向上を図る研修
合計			受講者数 885 修了者数 859		受講者数 1,310 修了者数 1,288	